

平成28年(2016年)3月25日
 環境部資源循環推進課廃棄物政策係
 (課長)宮村 泰之 (係長)横山 浩明
 (担当)櫻井 史郎
 電話:026-235-7187(直通)
 026-232-0111(代表)(内線)2797
 FAX:026-235-7259
 E-mail:junkan@pref.nagano.lg.jp

長野県廃棄物処理計画 (第4期) 案の概要

計画の趣旨

- ◆計画の位置付け
 - ・廃棄物処理法に基づく法定計画
 - ・循環型社会形成推進基本法を踏まえた計画
- ◆計画期間
 - 平成28年度から32年度までの5年間

現状と課題

◆長野県の現状

1人1日当たりの一般廃棄物排出量全国順位(H26)

順位	都道府県	排出量
1位	長野県	838g
2位	沖縄県	844g
参考	全国平均	947g



区 分		20年度実績値	26年度実績値(※)
一般廃棄物	総排出量	722千t	657千t
	1人1日当たり排出量	907g	838g
産業廃棄物	総排出量	3,709千t	4,341千t

※産業廃棄物は、25年度実績値

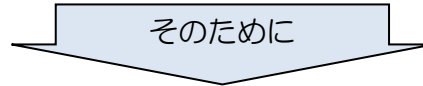
◆課題等

- ・一般廃棄物の総排出量は、20年度実績からは減少しているが近年は横ばい傾向
- ・産業廃棄物の総排出量は、増加傾向

基本目標等

**「もったいない」を大切にして
ごみ減量日本一!**
 ~美しい信州を次世代へ~

長野県の美しく豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくため、「もったいない」の気持ちを大切にして、廃棄物の排出抑制、再使用等の取組を進め、ごみの減量日本一を常に目指します。



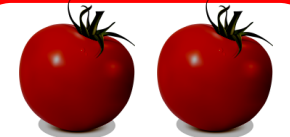
【2Rを意識した取組により、廃棄物の減量化を進めます。】



◆数値目標

区 分		平成32年度目標値
一般廃棄物	総排出量	588千t
	1人1日当たり排出量	795g
産業廃棄物	総排出量 ※	4,358千t

※総合5か年計画及び環境基本計画の達成目標を併せて変更



目標達成まで、ミニトマト2個分!

取 組

< 県民総参加によるごみの減量化 >

~県民及び事業者が広く関わりながら行う県民運動~

【チャレンジ800ごみ減量推進事業】

全ての県民が参加するごみ減量の取組を広げ、しあわせ信州創造プランで掲げる「県民1人1日当たりの一般廃棄物の排出量800g以下」の達成を目指します。

- ◆チャレンジ800実行チームによる取組
- ◆レジ袋削減県民スクラム運動
 - ・レジ袋削減協働アピール
 - ・統一行動日のキャンペーンの実施

- ◆食べ残しを減らそう県民運動~e-プロジェクト~
 - ・協力店の登録促進
 - ・新たに、小売業者にも参加を呼びかけ
 - ・宴会たべきりキャンペーンの実施
- ◆次世代への教育
 - ・食品ロス削減の教材を作成し、環境教育を推進



《 排出抑制・再使用等の推進》

◆リデュース(排出抑制) ~大切に使い、ごみを減らす~

- ・一般廃棄物処理の有料化の促進
- ・地域的特色に応じた市町村の取組の支援
- ・事業系一般廃棄物の減量化
オフィス商工会の仕組作りを研究 等
- ・レジ袋の削減
- ・食品ロスの削減
フードバンク活動への協力検討 等
- ・事業者の自主的な資源生産性向上等による排出抑制の推進
- ・環境マネジメントシステムの導入の推進
- ・長野県産業廃棄物3R実践協定の推進

◆リユース(再使用) ~使えるものは繰り返し使って使う~

- ・リターナブル容器等のリユース
利用が図られる仕組づくりを県内企業と研究
- ・各主体(家庭、市町村、地域、職場)によるリユース

◆リサイクル(再生利用) ~資源として再び利用する~

- ・法規制によるリサイクル
- ・インクカートリッジのリサイクル
- ・信州リサイクル製品の普及
- ・ごみの分別収集
分別収集やダンボールコンポストによる生ごみの削減、堆肥化
- ・廃棄物のエネルギー利用の推進

◆環境教育等の推進

◆取組指標

- ・一般廃棄物 最終処分量 58千t(H25年度) → 51千t(H32年度)
- ・産業廃棄物 最終処分量 81千t(H25年度) → 78千t(H32年度) 等

《適正処理の推進》

- ◆廃棄物の適正処理の確保
- ◆廃棄物の適正処理基盤の整備 等

《長期的取組》

- ◆ごみ処理の広域化
- ◆地域循環圏の形成 等